



交通事故における人命救助表彰の実施について

～ 迅速的確な救助活動により、未来ある若者の命が救われました ～

【概要】

令和元年5月3日14時頃、八千代市米本の国道16号線の道路上に、交通事故により下肢が切断され、出血性ショック状態で倒れていた男性に対し、偶然通りかかった本市総合医療センターの職員が迅速的確な救助活動を行ったことで、男性は一命を取り留めました。

【詳細内容】

令和元年5月3日14時頃、八千代市米本の国道16号線、島田台交差点付近の道路上で、普通乗用車とバイクの交通事故により左下肢が切断され大量出血し、出血性ショック状態になった男性（19歳）が倒れている現場に、自家用車で偶然通りかかった本市総合医療センターの職員（菊地大介）が遭遇しました。

当該職員は自車を停車させ、倒れている男性の元に駆けつけ、早急に止血処置を実施するとともに、脈・血圧・出血量・意識レベル等の確認を行い、その状況から通常の救急車の搬送では命が持たないと判断し、ドクターヘリの出動を要請する等、迅速的確な救助活動を行ったことで男性は一命を取り留めました。その功績に対し、市長表彰を行うものです。

なお、本件に関し、令和元年6月7日、千葉県八千代警察署から当該職員に感謝状が贈られました。

【表彰日時・場所】

令和元年8月30日（金）11時から 松戸市役所新館5階 市長室

【被表彰者】

市立総合医療センター看護局看護科 看護師・菊地 大介（きくち だいすけ）

【問い合わせ先】

総務部人事課 ☎047-366-7306

◆ 菊地 大介(看護師) 37歳 H27.1.1採用(5年目) 松戸市立総合医療センター看護局看護科HCU

- ① 令和元年5月3日(14:00頃) 家族旅行の帰路にて国道16号線を柏方面へ進行中渋滞に遭遇
- ② 交差点(島田台交差点)を通過しようとしたところ、左下肢(膝下)が切断され大量出血し、道に倒れている男性を発見
- ③ 現場は車どおりは多いものの、人通りが少なく、誰も救助をしていない状況
- ④ 加害車両と思われるタクシーの前に自車を停車し現場へ駆けつける。
- ⑤ タクシーのボンネット右側面付近には、被害男性の切断された左下肢部分が食い込み、ぶら下がっていた。(抜こうとしたが抜けなかった)
- ⑥ 被害者男性の意識レベル確認。意識はあるが出血性ショック状態
- ⑦ 早急に止血の処置を実施 (大腿動脈圧迫 + 下肢挙上)
- ⑧ 止血処置と同時に救急要請
 - ・自身が松戸市立総合医療センターの看護師であることを告げる。
 - ・脈、血圧、出血量及び意識レベル等を報告
 - ・ホットラインレベルである状況を報告
 - ・救急車の搬送では命が持たないと判断し、ドクターヘリの出動を要請

- ⑨ 止血処置により出血低下(出血性ショック状態継続により命の危険)
- ⑩ レスキュー隊・救急隊現場到着(発見から約10分間)
- ⑪ ドクターヘリは、現場近くの小学校校庭で待機する。
- ⑫ 救急車で待機中のドクターヘリへ搬送。その後ドクターヘリにより病院搬送
- ⑬ 被害男性は、左下肢切断となるも、一命は取り留めた。
菊地看護師の迅速的確な救助活動が無ければ、被害男性は間違いなく命を落としていたと言われている。

【事故後の経過】

- ・令和元年5月初旬 千葉県八千代警察署より報告あり
- ・令和元年5月24日 「警察署長感謝状贈呈式への出席について」受領(八千代署職員 当院訪問)
- ・令和元年6月7日 千葉県八千代警察署 署長室にて「感謝状」受領

